

【参考文献】

（文中に挙げたものを中心に）（敬称略）

著作・論文

相田二郎『戦国大名の印章』（名著出版、一九七六年）

秋澤繁書評「高知県史古代・中世篇」（『海南史学』第一〇号、一九七三年）

秋澤繁編『戦国大名論集15長宗我部氏の研究』（吉川弘文館、一九八六年）

秋澤繁「太閤検地」（『岩波講座日本通史第11巻』岩波書店、一九九三年）

秋澤繁「織豊期長宗我部氏の側面」（『土佐史談』第二二五号、二〇〇〇年）

秋澤繁「『日本一鑑』からみた南海路」（『長宗我部元親・盛親の栄光と挫折』高知県立歴史民俗資料館、二〇〇一年）

秋澤繁・荻慎一郎編『土佐と南海道』（吉川弘文館、二〇〇六年）

朝倉慶景「土佐一条氏の動向」（山本大編『長宗我部元親』新人物往来社、二〇一〇年）

石尾和仁「長宗我部元親による阿波国侵攻の「記録」と「記憶」」（『四国中世史研究』第一一号、二〇一一年）

市村高男「永祿末期における長宗我部氏の権力構造」（『海南史学』第三六号、一九九八年）

市村高男「戦国の群雄と土佐国」（荻慎一郎・森公章・市村高男・下村公彦・田村安興『高知県の歴史』山川出版社、二〇〇一年）

上野智子「鞆浦とその周辺の海岸部地名」（阿波学会編『総合学術調査報告海部町郷土研究発表会紀要第三三号』徳島県立図書館、一九八七年）

大江健三郎『大江健三郎小説3』万延元年のフットボール』『われらの狂気を生き延びる道を教えよ』（新潮社、一九九六年）

大隅満・鈴木健司編『大江健三郎研究』（リール出版、二〇〇四年）

太田秀春『朝鮮の役と日朝城郭史の研究』（清文堂、二〇〇六年）

尾下成敏「羽柴秀吉勢の淡路・阿波出兵」（『ヒストリア』第二二四号、二〇〇九年）

笠谷和比古・黒田慶一「秀吉の野望と誤算」（文英堂、二〇〇〇年）

加藤一寧「如意珠日について」（『花園大学国際禅学研究所論叢』第一号、二〇〇六年）

加藤理文『織豊権力と城郭』（高志書院、二〇一二年）

唐木裕志・橋詰茂『中世の讃岐』（美巧社、二〇〇五年）

川島佳弘「小牧・長久手の合戦と伊予の争乱」（『織豊期研究』第九号、二〇〇七年）

北島万次『朝鮮日々記・高麗日記』（そしえて、一九八二年）

北島万次『豊臣政権の対外認識と朝鮮侵略』（校倉書房、一九九〇年）

桑名洋一「長宗我部氏の讃岐進攻戦に関する一考察」（『四国中世史研究』第九号、二〇〇七年）

桑名洋一「長宗我部氏の四国統一」についての一考察」（『伊予史談』第三五〇号、二〇〇八年）

桑名洋一「天正期伊予国喜多郡における戦乱について」（『伊予史談』第三五五号、二〇〇九年）

高知県教育委員会編『岡豊城跡―第1〜5次発掘調査報告書―』（高知県教育委員会、一九九〇年）

高知県立歴史民俗資料館『四国の戦国群像』（高知県立歴史民俗資料館、一九九四年）

高知県立歴史民俗資料館『長宗我部元親・盛親の栄光と挫折』（高知県立歴史民俗資料館、二〇〇一年）

高知県立歴史民俗資料館『長宗我部盛親』（高知県立歴史民俗資料館、二〇〇六年）

高知市観光振興課「長宗我部元親」（二〇一一年）

高知市教育委員会『朝倉』（高知市教育委員会、一九九〇年）

高知市史編さん委員会絵図地図部会編『描かれた高知市』（高知市、二〇一二年）

小林清治『秀吉権力の形成』（東京大学出版会、一九九四年）

司馬遼太郎『夏草の賦（上）』（文春文庫、二〇〇五年）、『夏草の賦（下）』（同）

下村效『戦国・織豊期の社会と文化』（吉川弘文館、一九八二年）

下村效『日本中世の法と経済』（続群書類従完成会、一九九八年）

白石友治『金子備後守元宅』（帝国教育学会、一九三四年）

関田駒吉『関田駒吉歴史論文集下』（高知市民図書館、一九八一年）

高木昭作『日本近世国家史の研究』（岩波書店、一九九〇年）

津野倫明「文禄・慶長の役における毛利吉成の動向」（高知大学人文学部人間文化学科『人文科学研究』第九号、二〇〇二年）

津野倫明「長宗我部元親の合戦 研究最前線」（『歴史読本』第五二巻九号、二〇〇七年）

津野倫明「土佐（高知）的史書及自治体史之編纂」（国史館台湾文献館編輯組編『方志学理論与戦後方志纂修実務国際学術研討会論文集』二〇〇八年）

津野倫明「慶長の役における「四国衆」」（地方史研究協議会編『歴史に見る四国』雄山閣、二〇〇八年）

津野倫明「朝鮮出兵と長宗我部氏の海洋政策の一断面」（高知大学人文学部「臨海地域における戦争と海洋政策の比較研究」研究班編『臨

- 海地域における戦争・交流・海洋政策』リーブル出版、二〇一一年)
- 津野倫明『長宗我部氏の研究』(吉川弘文館、二〇一二年)
- 土居喜一郎『長宗我部氏の「新留守居制」と久武親直』(『海南史学』第四八号、二〇一〇年)
- 中井均『織豊系城郭の地域的伝播と近世城郭の成立』(村田修三編『新視点中世城郭研究論集』新人物往来社、二〇〇二年)
- 中野良一『湯築城跡出土の瓦について』(『湯築城跡第四分冊』愛媛県埋蔵文化財調査センター、二〇〇〇年)
- 中野良一『湯築城跡』(同成社、二〇〇九年)
- 南国市教育委員会『史跡岡豊城跡保存管理計画書』(南国市教育委員会、二〇一二年)
- 南国市教育委員会『平成24年度岡豊城跡伝家老屋敷曲輪第3次調査現地説明会資料』(南国市教育委員会、二〇一三年)
- 野本亮『試論 長宗我部元親発給文書に関する若干の考察』(『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第一号、二〇〇一年)
- 野本亮『長宗我部元親の右筆とその周辺』(『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第一三三号、二〇〇三年)
- 橋詰茂『瀬戸内海地域社会と織田権力』(思文閣出版、二〇〇七年)
- 橋詰茂『長宗我部元親新出文書について』(『香川県立文書館紀要』第一号、二〇〇七年)
- 蜂矢真郷『和名類聚抄地名の「部」』(国語文字史研究会編『国語文字史の研究十二』和泉書院、二〇〇九年)
- 蜂矢真郷『地名の二分化』(『地名探究』第一〇号、二〇一二年)
- 平井上総『関ヶ原合戦と土佐長宗我部氏の改易』(『日本歴史』第七一八号、二〇〇八年)
- 平井上総『長宗我部氏の検地と権力構造』(校倉書房、二〇〇八年)
- 平井上総『長宗我部元親式目』考』(『史学雑誌』第一一八編第四号、二〇〇九年)
- 平井上総『津田信張の岸和田入城と織田・長宗我部関係』(『戦国史研究』第五九号、二〇一〇年)
- 平井上総『香宗我部親泰と長宗我部元親』(『歴史読本』第五六卷二二号、二〇一一年)
- 平井上総『浪人長宗我部盛親と旧臣』(天野忠幸・片山正彦・古野貢・渡邊大門編『戦国・織豊期の西国社会』日本史料研究会、二〇一二年)
- 福島金治『戦国島津氏琉球渡海印判状と船頭・廻船衆』(有光友学編『戦国期印章・印判状の研究』岩田書院、二〇〇六年)
- 藤本久志『戦国大名の権力構造』(吉川弘文館、一九八七年)
- 藤田達生『本能寺の変の群像』(雄山閣、二〇〇一年)
- 藤田達生『日本近世国家成立史の研究』(校倉書房、二〇〇一年)
- 藤田達生『謎とき本能寺の変』(講談社、二〇〇三年)
- 藤田達生『伊予八藩成立以前の領主と城郭』(『よど』第七号、二〇〇六年)
- 藤田達生『証言本能寺の変』(八木書店、二〇一〇年)
- 藤田達生『信長革命「安土幕府」の衝撃』(角川学芸出版、二〇一〇年)
- 藤田達生『湯築廃城期考』(『伊予史談』第三五八号、二〇一〇年)
- 村井章介『世界史のなかの戦国日本』(筑摩書房、二〇一二年)
- 村田修三『図説中世城郭事典第三卷』(新人物往来社、一九八七年)
- 山口啓二『幕藩制成立史の研究』(校倉書房、一九七四年)
- 山室恭子『中世のなかに生まれた近世』(吉川弘文館、一九九一年)
- 山本大『長宗我部』(『苗字考』(『土佐史談』通巻九〇号、一九五七年)
- 山本大『長宗我部元親』(吉川弘文館、一九六〇年)
- 山本大『土佐長宗我部氏』(新人物往来社、一九七四年)
- 山本浩樹『放火・稲薙・麦薙と戦国社会』(『日本歴史』第五二二号、一九九一年)
- 山本浩樹『戦国大名領国「境目」地域における合戦と民衆』(『年報中世史研究』第一九号、一九九四年)
- 山本浩樹『戦争の日本史12西国の戦国合戦』(吉川弘文館、二〇〇七年)
- 吉村佐織『豊臣期土佐における女性の知行』(『海南史学』第四一号、二〇〇三年)
- 若山浩章『海に生きる』(安藤保・大賀郁夫編『高千穂と日向街道』吉川弘文館、二〇〇一年)
- 吉成承三・筒井三菜編『史跡高知城跡 三ノ丸石垣整備事業に伴う発掘調査報告書』(高知県文化財団埋蔵文化財センター、二〇一〇年)
- 渡辺武監修『秀吉と桃山文化』(毎日新聞大阪本社文化事業部、一九九六年)